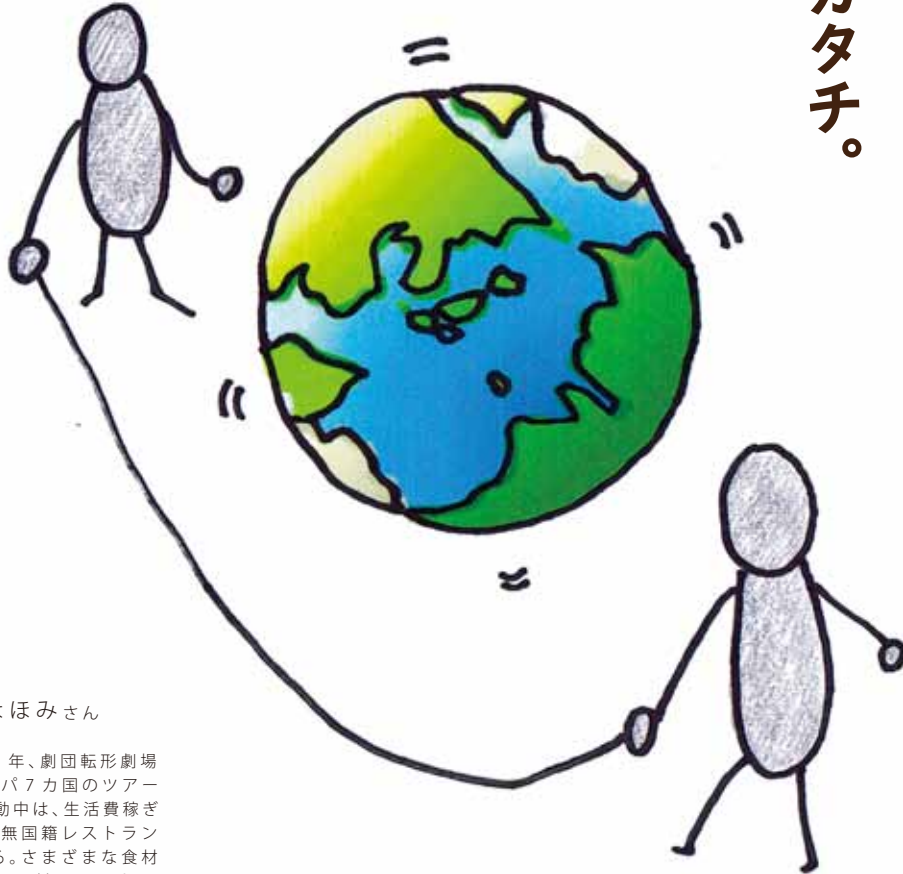


TPPと貧困。

2つの問題を通して見えてくる、

私たちの幸せのカタチ。

地球に暮らす私たちの暮らしを、
ごく一握りの大企業が支配する。
そんなことってありえるの？



トークショーゲスト
料理研究家 枝元なほみさん

横浜生まれ。料理家。1981年、劇団転形劇場の劇団員として、ヨーロッパ7カ国のツアーにも参加。8年間の劇団活動中は、生活費稼ぎのために、友人の経営する無国籍レストランの厨房で料理の仕事をする。さまざまな食材やスパイスなどに鍛えられて料理にはまり、劇団解散時にフリーの料理人になり今に至る。食を広い視点で考えていけたらと、農業を応援する目的で〈チームむかご〉を設立。経済効率のみを優先した食のあり方を変え、生産者と消費者を結ぼうと活動している。

映画 幸せの経済学

2013
2/3日

上映会&トークショー

第1部 13:30~16:00
第2部 17:00~19:30

会場 かでる 2.7 520 研修室 参加料 1,000円 〈1,2部とも参加の場合は1,500円〉
札幌市中央区北2条西7丁目

主催 TPPを考える市民の会 ビッグイシューさっぽろ 共催 生活クラブ生活協同組合 後援 北海道

第1部

13:30 ヘレナ・ノーバーク=ホッジ監督
メッセージ上映
13:40 「幸せの経済学」上映
14:50 トークショー
「検証、TPPと私たちの暮らし」
出演 枝元なほみ、中原准一、大熊久美子

第2部

17:00 ヘレナ・ノーバーク=ホッジ監督
メッセージ上映
17:10 「幸せの経済学」上映
18:20 トークショー「貧困問題」
出演 枝元なほみ、平田なぎさ
エップ・レイモンド、荒谷明子

まったく別のテーマのように見える TPP 問題と貧困問題。 実は1つのキーワードでつながっていました。 それは、「グローバル化」

「ローカリゼーション」を推進し、グローバル化に対する問題提起を続ける環境活動家であり人類学者、ヘレナ・ノーバーグ＝ホッジが監督、2010年製作の映画「幸せの経済学」の上映がよいよ札幌でも開催されます。2012年11月に彼女が来日した時に「TPPを考える市民の会」のメンバーがお会いして収録したヘレナ女史のメッセージビデオも一緒に上映、そして、この問題に明るい、道内各界から集まったオピニオンリーダーたちが枝元なほみさんとともにトークショーを2部構成で開催。1部は話題の「TPP」をテーマに、2部は「貧困」をテーマにトークが展開されます。このイベントへの参加を通して「TPPや貧困の本質」のみならず、わたしたちの暮らしの本質へと迫り、ひとりひとりがじっくりと考え、自分で行動を起こすようになってほしいと願っています。



トークショーゲスト
枝元なほみさん

第1部 トークショー

「検証、TPPと私たちの暮らし」 出演者



中原准一
酪農学園大学特任教授

1946、富良野市生まれ。北海道大学大学院農学研究科博士課程（農業経済学専攻）酪農学園大学講師、その後助教授、教授を歴任。デンマーク王立農業獣医学大学留学。酪農学園大学定年退職、その後特任教授、現在に至る。日本農業市場学会員、北ヨーロッパ学会等に所属。北海道農業ジャーナリストの会幹事等。



大熊久美子
NPO法人食の自給ネットワーク事務局長

札幌市生まれ。生活クラブ生活協同組合理事を経て1999年、北海道食の自給ネットワークを設立。大豆トラスト、フォーラムの開催、小学生を対象とした食育、生産者と消費者の交流などの活動を行っている。現在「北海道農作物優良品種認定委員会」委員、「北のクリーン農産物表示制度審査会」審査委員、北海道食育コーディネーター、北海道有機農業協同組合理事「北海道中山間ふるさと・水と土保全対策委員会」委員、「農業農村整備事業等補助事業の評価に関わる技術検討会」委員、等も務める。

第2部 トークショー「貧困問題」 出演者



平田なぎさ
ビッグイシューさっぽろ事務局長

札幌市生まれ。2007年9月から札幌での販売が開始されたホームレスの自立を応援する雑誌「ビッグイシュー」のサポート団体である「ビッグイシューさっぽろ」でのボランティア活動に2008年4月から参加。翌年から事務局長を務める。その他に「反貧困ネットワーク北海道」の事務局の仕事も兼務。今の願い事は「札幌にもっと貧困問題に取り組む人材が増えてほしい」ということ。



エップ・レイモンド
メノビレッジ長沼代表

1960年、米国ネブラスカ州の農家生まれ。カナダ・ウィニペグ大学卒。90年、コミュニティオーガナイザーとして農業問題に取り組む。95年に空知管内長沼町でメノビレッジ長沼を設立、有機農業を始め現在に至る。NPO法人・地域づくり実践教育センター「エスカトン」代表も務める。



荒谷明子
メノビレッジ長沼

札幌に生まれる。幼い頃から、農業に憧れる。帯広畜産大学在学中、一年間休学しカナダへ渡り、様々なローカリゼーションの取り組みに触れる。その時に会った、レイモンド氏と結婚し1995年メノビレッジを設立し現在に至る。

あなたは、「豊かさ」をどんなものさしではかりますか？
お金を持っていることでしょうか。
便利で、快適な暮らしを送ることでしょうか。

映画【幸せの経済学】のご紹介

今まで世界では国の豊かさを測る指標として「GNP（国民総生産）」や「GDP（国内総生産）」などが使用され、どれだけ経済成長したかということが「豊かな国」の定義だと信じられてきました。この考え方によってグローバル化の波が世界中に広がり、世界の様々な地域に「開発」という名の「消費社会」が流れ込みました。結果、便利で快適に生活できるなどの正の側面がある反面、負の側面ではコミュニティの伝統的な暮らしが崩壊し、かつてはそこにはなかったはずの「新たな貧困」が生まれるようになったことも事実です。本当の豊かさとはなにか？それを、今こそ考える時ではないでしょうか。



幸せの経済学
<2010年製作作品/68分>

人類学者でありこの作品の監督でもあるヘレナ女史が長年にわたり見つめてきたヒマラヤ辺境の地ラダック。30年前までは外国人立入禁止地域であったこの地で幸せに暮らしていた人々の生活を、急速なスピードで世界に広がり続ける近代化の波が呑み込んでいきます。この作品では、消費文化に翻弄されるラダックの人びとの姿をもとに、世界中の環境活動家たちがグローバル化の負の側面を指摘し、本当の豊かさとは何か、を説いていきます。

今年11月に来日した時に、北海道のみなげんに向けてメッセージを録音しました。このイベントで上映します。



ヘレナ・ノーバーグ＝ホッジ監督

スウェーデン生まれ。言語学者。I SEC（エコロジーと文化のための国際協会）代表。グローバル化に対する問題提起や啓発活動を行っている世界的なオピニオンリーダーの一人。1975年にラダックに入り、ラダック語・英語辞書を作成。もうひとつのノーベル賞と呼ばれるライト・ライブラリー賞を1986年に受賞。